

令和6年度中国・四国ブロック高齢者施設のためのHIV感染症対策研修会

HIV感染症は、抗HIV療法の進歩による予後の改善に伴い、コントロール可能な病気となり、長期存命が可能となりました。

一方で、長期にわたり治療しながら生活する患者の高齢化が進んでおり、地域における長期療養体制の支援が重要になっています。

このため、HIV感染者・エイズ患者が地域において安心して治療を継続しながら生活を送るため、正しい知識の習得と偏見差別の防止を図ることを目的とした研修会を開催します。

ぜひ、この機会に、患者の支援について一緒に学びましょう。



■日 時 令和7年2月4日（火） 14:00～15:30

■場 所 広島県保健環境センター2階研修室（広島市南区皆実町一丁目6-29）

■参加費 無料（どなたでも参加いただけます）

プログラム

■アンケート調査の結果報告（仮）

講師：広島大学病院 輸血部 藤井 輝久

■HIV陽性者の福祉施設での受入、施設におけるウイルス感染症対策（仮）

講師：独立行政法人国立病院機構 福山医療センター

感染管理認定看護師 片山 智之

■当事者のお話

講師：大阪HIV薬害訴訟原告団

■HIV感染症患者のカウンセリング

講師：広島大学病院 エイズ医療対策室 杉本 悠貴恵

主催：中国・四国ブロック内拠点病院等連絡協議会事務局

（広島県健康福祉局健康危機管理課内）

後援：中国・四国ブロック拠点病院（広島大学病院エイズ医療対策室）

【問い合わせ/参加申込】 広島県健康福祉局健康危機管理課

（広島市中区基町10-52）

電 話：082-513-3068

メール：hcdc@pref.hiroshima.lg.jp F A X：082-254-7114